



福岡市城南区梅林 2-11-9
陶芸工房フラクタル
TEL&FAX: 092-577-5769
<http://www.yurasan.com>

フラクタル流



陶芸工房フラクタル

こんにちは、フラクタル流の第二号です。
「フラクタル流」の流は「りゅう」と読み、テレビ番組でやっているソロモン流の流と同じ感じかな。陶芸工房フラクタルの「こだわり」といった方が分かりやすいかも知れません。
ところで、ソロモンというのは旧約聖書に出てくる「賢者」と言われた王様の名前だそう、なんとあのインディージョーンズの映画の中の「失われたアーク(聖櫃)」はこのソロモン王が作った神殿の中に納められていたそうです。
さて、知る人ぞ知るフリーメイソン、その起源ではないかと言われているテンブル騎士団の「テンブル」はソロモンの神殿のことを指すそうです。なんとも興味の尽きない世界ですが、ぼくらは決してフリーメイソンではありません(笑)

クラウドアトラス？

最近みた映画(DVD)のタイトルですが、これまた難解なストーリーでした。六つの物語が「クラウドアトラス六重奏曲」という曲の流れの中で時代を越えて交錯していくという人間界の輪廻を表現したような映画。

SFが好きなのと、出演者が豪華(トムハンクス、ハルベリー、スーザンサランドン etc.)なので、つい見てしまいました。一言で評すればSFのがめ煮といった感じ。人間のクローンが増産され、純粋な人間のいいなり奴隷にされ、不要になったクローンは蛋白源として再利用される。そのクローンの中のひとりが目覚めて革命の旗手となり・・・といった物語。他の映画で見たようなシーンがふんたんに出てきます。ソシミというクローンを演じるアジア系の女性が印象的。

連載『タニシの大冒険』

<その2> 由良作

最大の防御は上空から襲い掛かるシラサギの目から、いかに身を隠すか・・・なんと、体中に泥をぬったくり、いつも泥だらけのまままで出来るだけダラダラとゆっくり移動する・・・というのがタニシの世界での鉄則であった。

こんな話を聞いたら、人間界のワルガキたちは喜ぶかも知れないが、タニシにしてみれば命にかかわるコトである。

そんな中、子供たちの間に、心を惑わす危険な思想が広がって来ていた。

曰く「タニシといえども、ただシラサギのえじきになっているだけでなく、自分の身は自分で守ろう！」このタニシ村の種族ははるか昔、特殊な能力をもっていたという言い伝えがあり、訓練さえ積めば、その能力を呼び起こすことができるという。その特殊能力とは・・・テレポーション「瞬間移動」のことであった。(続く)



FACEBOOK
福岡の陶芸教室フラクタル

生徒さんの作品紹介



これは平良さんの作品。夏といえばソーメン！！この器はピッタリですね



工房のグリーンカーテンが見事に完成しました。そつ、ゴーヤのカーテンです。確か六月に苗を植えたはずなので、およそ一ヶ月でこの勢いです。この葉っぱの増え方もまさにフラクタルそのもの。実がたくさんなつたらおすそ分けしますのでお楽しみに♪

フラクタル

陶芸の話



今年も「飯碗グランプリ」の作品募集が始まります。応募期間は7月1日から9月20日まで。ご存知、なまでも鑑定団で有名な中島誠之助さんが審査委員長です。上の写真はわが工房のゆらぎさんが受賞したときの写真ですが、もう懐かしい感じになります。ちなみに私・由良もこのコンテストで「優秀作品賞」をいただきました。次はアナタの番だ！！

オススメのお店などナド

城南区別府にある隠れ家的カフェ。ここのフレンチトーストは絶品です。この味、フラクタルの統計的データによれば福岡では間違いなく一番でしょう。



カフェドファミーユ
城南区別府 7-7-8
TEL:092-515-0908
定休日 2回 月・日
OPEN 11:00am